

令和3年度
行政評価諮問事務事業に係る答申書

令和3年10月
愛南町行政評価委員会

目 次

<u>1 審議経過</u>	3 ~ 4
(1) 評価した事務事業	3
(2) 評価の手順	3
(3) 会議の内容	4
<u>2 当委員会の評価</u>	5 ~ 11
(1) 評価の観点	5
(2) 評価の種別	5
(3) 評価の方法	5
(4) 評価の決定	6 ~ 11
<u>3 委員会委員名簿</u>	12

1 審議経過

(1) 評価した事務事業

次の5つの事務事業について評価しました。

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	子育て環境の充実
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
	事務事業		放課後児童クラブ事業
担当課		保健福祉課	
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
		施策	公共交通の確保
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保
	事務事業		コミュニティバス運営事業
担当課		総務課	
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	水産業の振興
	基本計画	基本事業	漁業の安定経営
	事務事業		水産業振興補助事業
担当課		水産課	
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	消防・救急体制の充実
	基本計画	基本事業	消防団の充実強化
	事務事業		消防団運営事業
担当課		消防本部庶務課	
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	人権の尊重・男女共同参画の実現
	基本計画	基本事業	男女共同参画の推進
	事務事業		男女共同参画推進事業
担当課		企画財政課	

(2) 評価の手順

- ① 事務事業担当課による内部評価を経た事業マネジメントシート(事後評価)及び附属資料により事業説明を受け、質疑応答を行いました。
- ② 行政評価シート(本書巻末に【資料】として添付)により各委員の評価を取りまとめ意見集約を行い、討議の上、当委員会の評価を決定しました。

(3) 会議の内容

次の3回の会議を開催しました。

回数	日時・場所	主な審議内容
第1回	令和3年8月31日(火) ～令和3年9月10日(金) 書面会議	<ul style="list-style-type: none">・ 諮問書の送付・ 諮問事務事業の資料送付・ 書面会議意見書の取りまとめ
第2回	令和3年9月27日(月) 13:30～16:00 本庁 3階 第2会議室	<ul style="list-style-type: none">・ 事務事業の説明及び質疑応答(各担当課)・ 事務事業の評価の準備
第3回	令和3年10月11日(月) 13:30～16:30 本庁 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none">・ 事務事業の評価の取りまとめ及び意見集約・ 事務事業の評価の決定・ 答申書(案)の確認
答申	令和3年10月26日(火) 町長室	<ul style="list-style-type: none">・ 答申

2 当委員会の評価

(1) 評価の観点

次の観点により評価しました。

観点	意味
妥当性	・ 上位の施策・基本事業成果指標の向上に貢献しているか(上位成果への貢献) ・ 税金を投入して行うべきか(公的関与の妥当性)
有効性	・ 意図に対して手段が有効か(成果状況) ・ 成果が向上する余地があるか(成果向上余地)
効率性	・ 現在の手段をもっと安価に実施できないか(効率化余地1) ・ 他の手段で事業を実施できないか(効率化余地2)

(2) 評価の種別

次の種別により評価しました。

種別		意味
維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
見直し	改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	拡充	予算や人員などのコストの投入を拡充し、より大きな成果を上げることをめざす。
	縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
休止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
廃止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

(3) 評価の方法

評価に当たっては、各委員による「(1) 評価の観点」の「妥当性」、「有効性」及び「効率性」の評価を集計し(9名の委員がそれぞれの項目に対して1票ずつ投票)、「意見・提言」とともに討議の参考としました。最終的に当委員会の評価は、「(2) 評価の種別」から選択し、また、それへの解説を加えて決定としました。

(4) 評価の決定

次のとおり当委員会の評価を決定しました。

① 評価の一覧

事業			評価の種別	
1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり	見直し／拡充
		施策	子育て環境の充実	
	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実	
	事務事業		放課後児童クラブ事業	
	担当課		保健福祉課	
2	基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	維持／このまま継続
		施策	公共交通の確保	
	基本計画	基本事業	町による生活交通の確保	
	事務事業		コミュニティバス運営事業	
	担当課		総務課	
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり	維持／このまま継続
		施策	水産業の振興	
	基本計画	基本事業	漁業の安定経営	
	事務事業		水産業振興補助事業	
	担当課		水産課	
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり	見直し／改善
		施策	消防・救急体制の充実	
	基本計画	基本事業	消防団の充実強化	
	事務事業		消防団運営事業	
	担当課		消防本部庶務課	
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり	維持／このまま継続
		施策	人権の尊重・男女共同参画の実現	
	基本計画	基本事業	男女共同参画の推進	
	事務事業		男女共同参画推進事業	
	担当課		企画財政課	

② 評価の詳細

(7 ～ 11 のとおり)

	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	子育て環境の充実
1	基本計画	基本事業	保育サービス等の充実
	事務事業		放課後児童クラブ事業
	担当課		保健福祉課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	8票	1票		
有効性	4票	4票	1票	
効率性	3票	6票		
計	15票	11票	1票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・現在は3校による事業で、理想は、全ての校区の保護者も等しく当事業を受けれることが望ましいが、現在の制度では拡充は難しいと考えます。 ・小学校統廃合が今後進むことから、子どもの人数も将来的に増減するため、保護者のニーズにあうよう常に最適化を目指して事業を継続していただきたいと考えます。 ・少子化対策への対応についても、利用者が希望するクラブ、こども塾に全て受入れられるよう今後、可能な限り継続すべき事業と考えます。 ・今年試行的にスタートした平城小の放課後図書クラブ事業に期待しています。 ※3密対策に加え短時間によることで保護者の負担も軽減されることもあり、環境に応じた選択ができることや更に4年生以上も利用可能にする等、フレキシブルな対応を望みます。 ・児童クラブと子ども塾の制度の違いはあるものの、運用の差がなるべく乖離しないことを望みます。 ・常に待機者がいないように工夫して事業を進めて欲しい。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／拡充	子育て環境の充実としては、継続して取り組んでいく必要がある政策だと考えます。子どもの人数も将来的に増減があるため、子育て環境における保護者の意見等を確認しながら常に最適化を目指して工夫した事業展開を期待します。

基本構想	政策	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
	施策	公共交通の確保
2 基本計画	基本事業	町による生活交通の確保
事務事業		コミュニティバス運営事業
担当課		総務課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	6票	2票	1票	
有効性	3票	4票	2票	
効率性	2票	4票	3票	
計	11票	10票	6票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は生活に直結するものであり、今後も各地域において利用者の移動手段として継続する必要があると考えます。 ・令和4年度には支線の切り替えを行う予定ですが、利用者の環境に応じた運行を望みます。 ・高齢化の進む中で、通院、買い物など利用者に必要な事業だと考えます。 ・近い将来の人口減少を見据えた対応などを考えながら、常に利用環境に応じた変化への運用に努めていただきたい。 ・令和4年に主幹道路以外は民間バスからコミュニティバスに切り替わることから、今後、生活交通の確保が課題になっています。 ※日常バス利用している学生や高齢者にとっては、必要不可欠な移動手段であるため、路線の利便性や効率性、更には料金格差等、運営方法の改善が必要であると考えます。 ・収益改善として、企業等へバスへの広告掲載を働きかけるなどを検討していただきたい。 ・利用者が少ない支線への対応として、デマンド型交通の試行的な実施の検討をしていただきたい。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	生活に必要な事業だと考えますが、利用者の少ない路線もあることから、その運用としてデマンド型交通の試行的な運用やコミバスへの広告掲載など、より良い手段・方法を常に模索して事業運営を行っていただきたい。

3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	水産業の振興
	基本計画	基本事業	漁業の安定経営
	事務事業		水産業振興補助事業
	担当課		水産課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	5票	4票		
有効性	4票	4票	1票	
効率性	2票	5票	1票	1票
計	11票	13票	2票	1票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> 水産業は、愛南町の主幹産業の一つであるため、地域活性化のためにも継続して事業実施を行っていただきたい。 食の安全が問われる中、梱包施設整備に愛南漁協が取り組みされたことから、漁協・会社を問わず早い時期に利用できるように協議して生産額増に繋げていただきたい。 HACCP施設（梱包施設）の利用率も向上して活性化を図ってほしい。 対象者が少人数の事業については、幅広い事業になるように制度改正を望みます。 長期的な事業も中にはあるため、費用対効果等の見通しなど詳細な報告をいただきたい。 現状で毎年「先進地視察研修事業」を組んでいることに違和感を感じます。研修内容は分かりませんが現地への視察の方法以外にも、リモートなどを活用しての研修の実施も検討していただきたい。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	水産事業者への補助事業としては、妥当性・有効性及び効率性が高い事業である一方で、補助対象者が偏らないような工夫をして事業展開を行っていただきたい。

4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	消防・救急体制の充実
	基本計画	基本事業	消防団の充実強化
	事務事業		消防団運営事業
	担当課		消防本部庶務課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	6票	2票	1票	
有効性	4票	4票	1票	
効率性	2票	5票	2票	
計	12票	11票	4票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・国の中間報告に示された消防改正事項については、変更への対応など早急に検討していただきたい。 ・全国的に女性団員の割合も少なく、災害時に幅広く対応するためには、女性団員も必要のため、女性団員を増やす取組みや機能別消防団員の導入等、団員確保の施策は有効だと考えます。 ・人口減少によって団員確保が課題であり、団員になることで災害意識を高め、機能強化を図っていただきたい。 ・町民の安心・安全に直結する事業であり、今後も継続して実施する必要があると考えます。 ・入団することに対して活動内容等に不安を感じるため、事前説明会や機械器具や基本動作説明など、きめ細やかな対応が必要だと考えます。 ・びやびや愛南タイムの利用等、宣伝も工夫してほしい。 ・アンケートの中で、消防訓練に対する回答に、「2～3時間以内にしてほしいの表れ」とあることから、時間短縮することも必要と考えます。メリット、デメリットのバランスを団員へ説明して理解を求めながら活動等を行ってほしい。 ・出初め式、操法大会、消火ポンプ・車両点検、年末夜警、地区防災訓練等の形式的な活動を行うだけではなく、実際の火災や自然災害に対応できる団員の人材確保、対応知識の共有を充実させる方法を模索してほしい。又、上記形式的な活動も意味のある活動の内容・方法に見直す必要があるのではないかと考えます。 ・アンケートを実施して団員定数や操法の在り方など協議し、令和5～6年度を目処に見直しを行う予定ということですが、2～3年後といわず早く消防団の在り方の方向性を導き出し魅力のある組織にしていきたい。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／改善	町民の安心・安全に直結する事業である中で、団員確保等難しい問題だと考えます。処遇改善や形式的な活動の見直し等、より良い手段を模索して機能向上するための事業を展開していただきたい。

5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	人権の尊重・男女共同参画の実現
	基本計画	基本事業	男女共同参画の推進
		事務事業	男女共同参画推進事業
		担当課	企画財政課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	4票	3票	2票	
有効性	1票	4票	4票	
効率性	1票	3票	5票	
計	6票	10票	11票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、今後も継続して実施して行く必要があると考えます。 ・多様な学習の機会の充実や男女共同参画社会の形成に取組み、その中で生じた課題の改善を行うためにもこのまま継続していただきたいと考えます。 ・町の各種委員会や審議会の女性の割合は、少しずつ向上しているものの、まだ全体的な男女平等意識は低いため、今後の各種委員会や審議会のメンバー改定時期には、改めて男女の割合が等しくなるように募集していただきたい。 ・座談会を町内で開催して、男女平等の意識を深める取組みを積極的に行っていただきたい。 ・状況や個々の能力に応じて、性別に関わらず組織の男女の割合の差があることも中には必要ですから、人権という大きなくりの中で再検討する時期にきているのではないかと考えます。 ・子育て支援との関係性を取りながら事業展開を行っていただきたい。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	今後も継続して実施する必要がある事業と考えますので、町民へ計画推進の普及に努め、男女平等意識を深めていただきたい。また、問題点については、その都度検討し改善していただきたい。

3 委員会委員名簿

番号	職務	氏名	備考
1	委員長	砂田 陽子	
2	副委員長	大西 浩樹	
3	委員	兵頭 堅次	
4	委員	宗田 清昭	
5	委員	益田 貴之	
6	委員	渡邊 千寿	
7	委員	高橋 一見	
8	委員	山川 美和	
9	委員	松本 正子	

【資料】

行政評価シート

基本構想	政策	
	施策	
基本計画	基本事業	
事務事業		
担当課		

1 妥当性

- ①上位の施策・基本事業成果指標の向上に貢献しているか(上位成果への貢献)
 ②税金を投入して行うべきか(公的関与の妥当性)

<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い <input type="checkbox"/> 低い
コメント

2 有効性

- ①意図に対して手段が有効か(成果状況)
 ②成果が向上する余地があるか(成果向上余地)

<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い <input type="checkbox"/> 低い
コメント

3 効率性

- ①現在の手段をもっと安価に実施できないか(効率化余地1)
 ②他の手段で事業を実施できないか(効率化余地2)

<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い <input type="checkbox"/> 低い
コメント

4 意見・提言

--

5 評価

1 維持	<input type="checkbox"/> このまま継続
2 見直し	<input type="checkbox"/> (1) 改善 <input type="checkbox"/> (2) 拡充 <input type="checkbox"/> (3) 縮小 <input type="checkbox"/> (4) 事業統合
3 休止	<input type="checkbox"/> 休止
4 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止

* 評価の種別については裏面を参照

評価の種別		評価の意味
1 維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
2 見直し	(1) 改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	(2) 拡充	予算や人員などのコストの投入を拡充し、より大きな成果を上げることをめざす。
	(3) 縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	(4) 事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
3 休止	休止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
4 廃止	廃止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

